



宮城県業務説明会

農芸化学

**Miyagi
Prefectural
Government**

農芸化学職の仕事

公害対策、廃棄物対策、地球温暖化対策、
食品衛生、再生可能エネルギー関連の企画立案など

配属先

本庁各課(室)、地方機関（保健所、保健環境センター、
環境放射線監視センターなど）

※食品衛生監視員は、食品衛生監視員になるための単位を大学で取得する必要があります。

自己紹介

宮城県柴田町出身



H23.3月 **県内大学卒業**

H23.10月～ **環境生活部 環境対策課**

騒音・振動・悪臭対策、東日本大震災からの復旧関係など

H26.4月～ **気仙沼保健福祉事務所（気仙沼保健所）**

工場事業場排水・排出ガス規制、土壌汚染対策など

H29.4月～ **環境生活部 竹の内産廃処分場対策室**

竹の内産廃処分場の維持管理・モニタリングなど

R2.4月～ **東部保健福祉事務所（石巻保健所）**

産業廃棄物処理業の許可、PCB廃棄物対策、新型コロナウイルス対策など

R5.4月～ **北部保健福祉事務所（大崎保健所）**

食品営業許可、食中毒調査など

R6.12月～ **環境生活部 食と暮らしの安全推進課**

環境衛生対策など

志望動機

なぜ公務員だった？

- ・ 事務、現場、研究などを幅広く経験できる
- ・ 県職員の家族がおり、身近に感じていた

なんで宮城県庁を選んだ？

- ・ 県内の様々な地域で仕事ができる
- ・ 災害からの復旧・復興など地元貢献したい

担当した仕事

石巻保健所 環境廃棄物班

- ・産業廃棄物の適正処理に関する指導・助言
- ・産業廃棄物処理業の指導・助言など

担当業務

- ・PCB廃棄物の適正処理指導
- ・産業廃棄物処理業の許可事務

大変だったこと

- ・ 想定外だった農業用の電気設備から、PCB廃棄物が処理期限間近に多く発見された
- ・ 時間がない（法律で処理期限が決まっている）



- ・ 処理が進められるよう、相手に合わせて支援

入庁前のイメージとギャップ

- **入庁前のイメージ**
 - ・ 定型業務が多い
 - ・ 事務作業が多い
- **入庁してみたら・・・**
 - ・ 定型業務もあるが、新規業務など企画・提案できる部分も多い
 - ・ 調査や検査など、外出することが多い

働いて感じる宮城県職員の魅力

○多様性のある職員

- ・同じ職場に行政職、薬剤師、獣医師、土木職など
- ・農芸化学→農学部、工学部、理学部、薬学部など

○宮城県民の生活を支える仕事ができる

- ・特に農芸化学職は環境対策や保健所での仕事が多く、県民生活に直結している

私の公務員試験対策

- ・ 募集要項や合格体験記を見て出題状況を確認
- ・ 一般教養：参考書で勉強
（数的処理、判断推理などを重点的に勉強）
- ・ 専門科目：大学の普段の講義をしっかりと勉強
（私は生物化学、分子生物学、有機化学を主に勉強）
- ・ 毎日少しずつやる

みなさんへのメッセージ

- 担当する仕事が「なぜこうなっているの？」「どのようにしたいのか」など、背景や目的を意識して、主体的に仕事をすると、意外と楽しい
- 農芸化学職は、いろいろな仕事を担当するため、今までに学んだ知識を活かせる

職員として一緒に働けることを楽しみにしています！